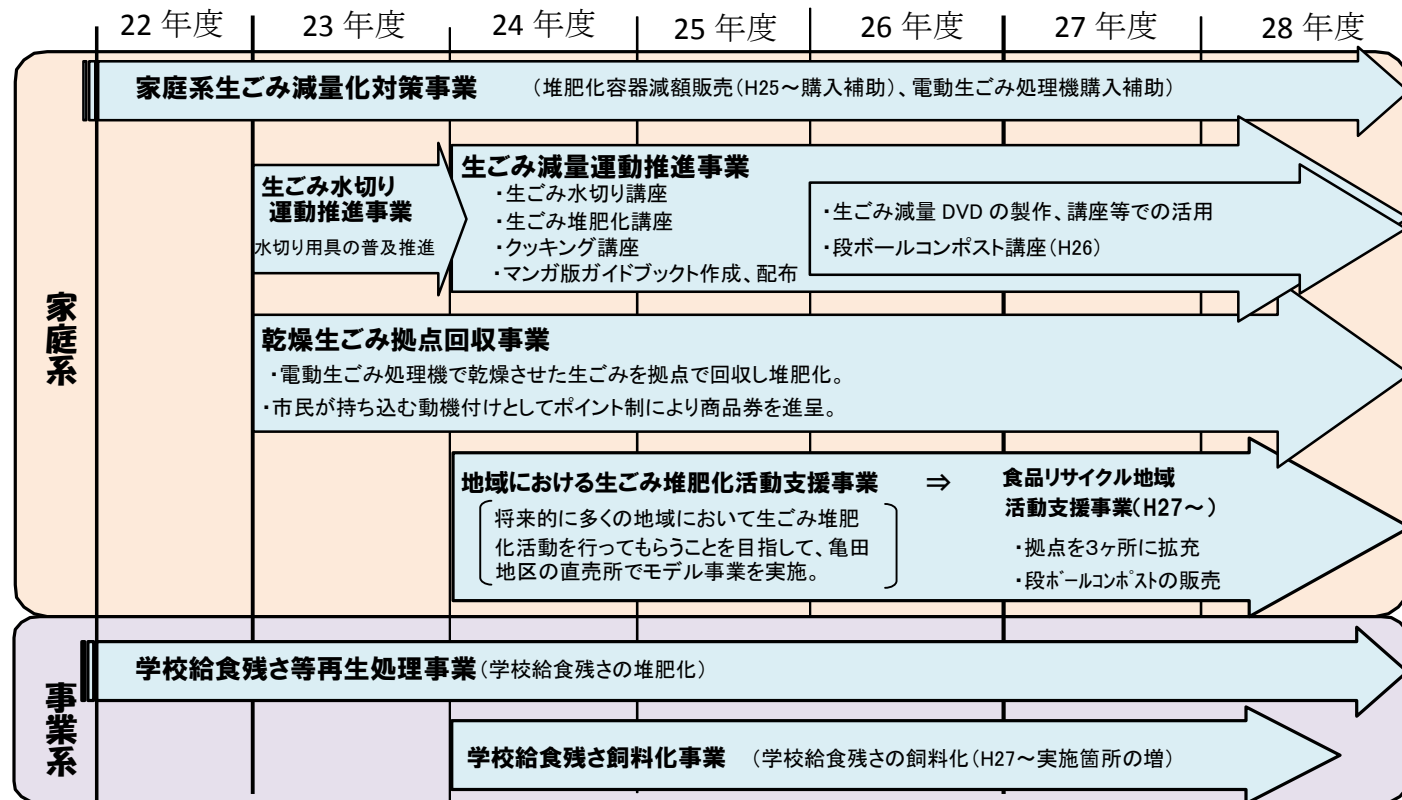


生ごみ減量化・資源化施策の進捗状況について

1 生ごみ減量対策事業の実施状況



2 事業の概要及び実績

(1) 生ごみ減量運動推進事業 (※H27.7「にいがた未来ポイント」対象事業)

市民一人ひとりが自らのライフスタイルに合った方法で生ごみ減量に取り組めるよう、水切り講座など各種講座を開催するとともに、様々な減量方法を紹介するマンガ版ガイドブックを出前講座やイベント時に配布した。

平成26年度に製作した生ごみ減量DVDは、図書館等での貸し出しや出前講座で活用した。

年度	開催講座	
26年度	生ごみ水切り講座：58名(2回)	計 171名
	生ごみ堆肥化講座：47名(2回)	
	クッキング講座：46名(2回)	
27年度	生ごみ水切り講座：61名(2回)	計 137名
	生ごみ堆肥化講座：30名(2回)	
	クッキング講座：46名(2回)	
28年度(6月末)	生ごみ水切り講座：119名(4回)	計 119名



【DVD画面】

(2) 乾燥生ごみ拠点回収事業 (※H27.7「にいがた未来ポイント」対象事業)

電動生ごみ処理機の普及を図るため、市内10ヶ所の拠点で乾燥生ごみを回収、市施設で堆肥化を行い、できた堆肥は希望者に無料配布を行っている。

回収した乾燥生ごみには、重量に応じてポイントを付与し、後日市共通商品券を進呈している。

※1kg=スタンプ1個、スタンプ10個=500円分の市共通商品券進呈

年度	回収量 (kg)
26年度	3,878
27年度	3,596
28年度(6月末)	845



【パンフレットとスタンプカード】

(3) 食品リサイクル地域活動支援事業

① 地域における生ごみ堆肥化活動 (※H28.7「にいがた未来ポイント」対象事業)

地域で生ごみの循環ループを構築することを目的に、平成24年度から江南区の直売所に生ごみ処理機を設置し、堆肥化するモデル事業を行ってきた。平成27年7月からは生ごみ処理機をさらに2ヶ所(南区・西蒲区)増設し、地域での生ごみ堆肥化活動を推進している。

年度		江南区	南区	西蒲区	合計
26年度	生ごみ回収量(kg)	2,211	—	—	2,211
	会員数(人)	74	—	—	74
27年度	生ごみ回収量(kg)	2,724	330	1,833	4,887
	会員数(人)	83	16	40	139
28年度(6月末)	生ごみ回収量(kg)	563	116	317	996
	会員数(人)	89	19	40	148



【会員証】



【処理機内の生ごみ】

② 段ボールコンポストの普及 (※H28.6「にいがた未来ポイント」対象事業)

家庭で手軽にできる生ごみ資源化手法のひとつとして、市オリジナル段ボールコンポスト「サイチョのマジックダンボール」を製作し、平成27年10月から販売開始。また、講習会を開催することで、市民への普及を目指している。

年度	販売数		講座	
	セット	基材のみ	開催数	参加人数
26年度	—	—	1	20
27年度	240	—	13	200
28年度(6月末)	140	12	4	25



【コンポストセット】

(4) 学校給食残さの飼料化・堆肥化

平成27年7月に環境省が示した「食品循環資源の再生利用等の促進に関する基本方針」では、再生利用方法の優先順位を、①飼料化、②肥料化、③メタン化等のエネルギーの再生利用としている。

このことを踏まえ、養豚業者による学校給食残さ飼料化事業では、対象とする学校給食センターを拡大し、肥料化から飼料化への移行を促進している。

年度	学校給食残さ飼料化		学校給食残さ堆肥化		回収量合計 (t)
	回収量(t)	対象施設数	回収量(t)	対象施設数	
26年度	47.50	2	458.40	88	505.90
27年度	77.71	4	385.08	84	462.79
28年度(6月末)	30.60	10	99.12	76	129.72

※「にいがた未来ポイント」との連携

平成27年7月からスタートした「にいがた未来ポイント」の対象事業にすることで、ごみの減量化・資源化を推進するとともに、市民の環境に配慮した活動への促進を目指す。